

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率100%  
保護者様： 29名回答、回答率80.5%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・建物の構造上、外階段など全てのバリアフリー化は難しいが、訓練室は緩衝材等を使用したり、療育具を最小限にしたりして、利用者の導線を整備することで安全面に配慮している。
- ・靴箱やロッカーにはコーナーガードを設置するなど安全にご利用いただけるよう努めている。

### ○業務改善

- ・全職員が社内研修で学んだPDCAサイクルを活用し、日々の業務改善に努めることができている。
- ・社内の階層別研修を受講したり、児童対応などについて心理士や作業療法士から助言を求めたりして、支援の質の向上に繋げている。
- ・職員間で業務内容をローテーションすることにより、全職員が円滑に業務出来るよう努めている。

### ○適切な支援の提供

- ・業務前ミーティングにて、利用者の情報共有を行い、個別支援計画に沿ってプログラムを立案している。
- ・社内の心理職員に利用者支援に関する相談をしたりミーティングに参加してもらったりすることにより、職員の資質向上を図っている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・地域の自立支援協議会に積極的に参加し、他事業者や学校などの関係機関と情報共有を行っている。
- ・日々の支援内容や子どもの様子を保護者へフィードバックし、発達の状況や課題について共有している。また、必要に応じて保護者に対し日々の関わり方について助言を行っている。
- ・相談支援員と利用者の情報を共有しながら支援に繋げている。

### ○保護者への説明責任等

- ・保護者へフィードバックを行う際、必要に応じて家庭での関わり方についても助言を行っている。
- ・保護者会の実施ができていないので、オンラインでの保護者会実施やブログの更新など、来室が難しい保護者にも教室の様子を見ていただける機会を設けられるよう検討する。

### ○非常時等の対応

- ・虐待防止研修や身体拘束についての研修、性教育研修を行っている。
- ・非常時に備え、マニュアルを策定し月に1回避難訓練を行っている。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

- ・「こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか」「職員の配置数は適切であるか」については80%以上の方から「はい」と回答をいただいた。
- ・「生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか」については「個別ブースでおもちゃが見えてしまっていることが気になる」とご意見をいただいたため、物の配置を再度検討していく必要がある。

## ○適切な支援の提供

- ・「こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されているか」については保護者様全員から「はい」と回答いただき、満足度が高いことがうかがえた。

## ○保護者への説明等

- ・「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができているか」「定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか」については80%以上の方から「はい」と回答いただいた。
- ・「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか」については「わからない」との回答も多かったため、来年度以降は、保護者会の開催を検討していく必要がある。

## ○非常時等の対応

- ・「事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか」については「マニュアルは設定されていると思うが、訓練が実施されているかわからない」とご意見をいただいたため、訓練を実施した際の周知が必要である。

- 満 足 度
- 「事業所の支援に満足しているか」については「個別のフィードバックの時間が欲しい」とご意見があったため、面談等を提案し、こどもの支援内容をより共有できる場を設定する。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

- ・保護者会の開催スケジュールを決め、必要な備品やオンライン設備状況の準備、周知を行う。
- ・定期的なブログ作成を行い、教室の様子を発信していく。
- ・職員間で各種マニュアルの読み合わせと、フィードバック内容の検討を行う。保護者へ支援後のフィードバックをする際に、過去の避難訓練実施報告書や各種マニュアルを用いながら、災害時等の対応について説明する。

## ○改善できた点・まだ残る課題

- ・各種マニュアルの読み合わせや事例検討を行い、フィードバックの際に、訓練の様子を説明することができたが、伝わっていない保護者もいるため、継続して訓練の様子を説明していく。
- ・保護者会とブログの作成については、教室の環境が整わず実施できていないため、スケジュールを決め、保護者同士の交流の場を作り、教室の様子を発信していく。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・こどものことを十分に理解し、ニーズを把握したうえで個別支援計画を作成することができる
- ・業務前ミーティングにて児童の様子を細かく共有し、プログラムに活かすことができる
- ・子どもと保護者のニーズや課題に合った支援を提供し、職員間で子どもの変化を細かく分析しながら、プログラム内容が偏らないよう、5領域を網羅する工夫をすることができる
- ・こどもたちに継続的に支援を行うことによって、安心して通所できる場所として評価をいただいている

### ○改善点

- ・教室の様子が発信できていないため、保護者も安心して通うことができるよう、開かれた事業所作りを目指していく必要がある
- ・保護者会の開催ができておらず、家族支援プログラムにアプローチできていないため、保護者同士が交流できる機会や、支援方針を改めて提示し説明する保護者会の開催を検討していく

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・感染症対策やオンラインでの保護者会の開催などを検討し、できるだけ多くの保護者の方に教室の中の様子を知っていただける仕組み作りを行う
- ・避難訓練の様子を説明し、マニュアルに対応した訓練を周知していく

### ○1年間で取り組む具体策

- ・前期後期で各1回保護者会を企画し周知を行う
- ・定期的なブログ作成を行い、教室の様子を発信していく
- ・保護者へ支援後のフィードバックをする際に、本日の訓練の様子に加え、過去の避難訓練実施報告書や各種マニュアルを用いながら、災害時等の対応について説明する